

台風第9号による防災情報(第1報)

新庄河川事務所では、8月22日(月)21時00分、立谷沢川流域及び角川流域、銅山川流域、寒河江川流域の雨量観測所において、降り始めからの連続雨量が80mmを超えたため、災害対策支部(注意体制・砂防)を設置しました。

今後、天候の状況を見て立谷沢川流域及び角川流域、銅山川流域、寒河江川流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

8月22日(月)21時00分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害のおそれがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害のおそれがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害のおそれがある場合

2. 雨量情報(「8月22日(月)21時00分現在)

[立谷沢川流域]	月山雨量観測所	連続雨量 83mm
[角川流域]	平根雨量観測所	連続雨量 87mm
	明戸雨量観測所	連続雨量 99mm
[銅山川流域]	肘折ダム雨量観測所	連続雨量 92mm
	肘折(気)雨量観測所	連続雨量 93mm
	木遠田雨量観測所	連続雨量 86mm
	豊牧雨量観測所	連続雨量 103mm
[寒河江川流域]	日暮沢雨量観測所	連続雨量 90mm

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262 (調査課直通)

副所長(砂防) しぎはら よしたか
鳴原 吉隆 (内線205)

調査課長 くぼた としかず
窪田 敏一 (内線351)